

第1回障がい者計画策定・推進部会 会議概要

日時 平成25年8月8日(木) 午後2時から午後4時

場所 大阪市役所 屋上階会議室

【議題1 大阪市障がい者支援計画の進捗状況について】

- ・各区相談支援センターについて、様々な役割が求められ負担が大きくなっており、このままでは行き詰る。役割の整理をしてほしい。
- ・地域活動支援センター(生活支援型)は、精神障がい者の専門的な相談支援の役割なので、相談支援に位置付けるよう見直してほしい。
- ・教育活動支援員と補助員の数が掲載されていない。今後、増員の努力を。
- ・計画相談支援について、同一法人による実施は望ましくないとされているが、認められないのか?それによつては、計画相談支援事業に参入するか迷っている法人も多い。
- ・実績が減っている項目もあるが、どのように評価しているのかがわからない。
- ・就労移行支援A型事業所が増加しているようだが、その実情については精査しているのか?
→この項目は地域活動支援センターA型。就労移行支援A型など福祉計画の進捗状況については、改めて報告する。
- ・年間利用者1名という事業もあるようだが、どのように評価しているのか?
→これはスタッフの配置人数。利用状況がわかるように改善したい。
- ・特別支援学校高等部での支援については記載されているが、高等学校生徒への支援の状況は?
→高等学校においても、必要に応じて支援するための人員配置などを行っている。

【議題2 平成25年度大阪市障がい者等基礎調査(案)について】

- ・相談先や協力を求められる相手に「近所の人・地域の人」とあるが、どのように違うのか？一つにまとめては？
→人によって取り方が違うので、幅を持たせる意味で併記した方がよい。
- ・調査票を送る時には、送付文に目的を強調して周知すべき。
- ・調査票の送付予定数で、精神障がい者が最も少ないのはなぜか？
→障がい種別ごとに、統計学上必要な数に前回の回答率を勘案して算出している。
- ・本人用調査票は3障がい共通だが、精神障がいは特有のニーズがあり、同じ調査票では対応できないのではないか。
→クロス集計の仕方ですべての障がいごとに特有のニーズも把握できる。むしろ、同じ調査票を用いることで、新たな結果が見えてくるのではないか。
- ・何のサービスも利用していないような人たちのニーズを把握することはできないか。
→課題認識はしているが、調査の限界で難しい。
- ・「医師の理解が得られない」という選択肢は、具体性に乏しく、指摘されても対応しにくい。
→コミュニケーションのものと障がい理解のことに分ける。
- ・結果の分析にあたってのワーキングを開催してほしい。
→検討する。

【議題3 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の公布について、
議題4 障害者優先調達推進法に基づく大阪市調達方針の検討状況について、

意見なし